

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2018

3月号  
vol.620

月刊

# 周友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

共同求人委員会活動で何を学ぶ？  
〇〇ナビや××ナビを利用して採用が難しい時代！

21世紀型  
自立型  
企業づくり

民主的な会社運営のために『社員総会』を開く

秋好 哲美 氏 [KOHO株式会社]

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと



AR動画が見られます！

ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法は  
P2をご覧ください

福岡同友会へ  
*Message*

福岡県商工会連合会 会長  
城戸 津紀雄 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、日頃より、県内中小企業の振興・発展にご尽力されていることに深く敬意を表すとともに、商工会の活動にも多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また、昨年7月の九州北部豪雨災害では、多くの商工会会員企業も被災し、地元商工会を中心に現在もその復興支援に取り組んでいるところですが、復興までにはまだまだ時間を要する状況のため、引き続きご協力頂けたら幸いです。

さて、県内の統計においては、生産・貿易・消費・雇用などいずれも改善傾向が続いており、経済は好調に推移していると言えますが、中小企業の現場においては、人手不足や社会保障負担増など、多くの課題を抱えており、依然として厳しい経営環境にあるというのが実感です。

その中でも、特に事業承継は切実な問題であり、中小企業が10年後20年後の未来においても地域を支えるリーダーであり続けるためには、今その後継者づくりに率先して取り組む必要があると考えます。この事業承継に対しては、多面的かつ継続的な支援を行うことが重要ですが、同友会の皆様におかれましては、その“けん引役”となっていただくことを期待しております。

私ども商工会としても、事業者に寄り添った伴走型支援の大きな柱として取り組んでいく所存ですので、県内中小企業振興の一環として、引き続き商工会とも連携の上、一緒に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

福岡県中小企業団体中央会 会長  
桑野 龍一 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、1963年の創立以来、約半世紀の長きに亘り中小企業の振興、発展のためご尽力されてこられました。会員並びに役職員の皆様方には深く敬意を表する次第であります。

我が国経済は、海外経済の緩やかな回復を背景に好循環が続いており、平成24年12月に始まった景気回復局面はいざなぎ景気を超え戦後2番目の長さとなりました。他方でも、雇用環境の改善が進み、有効求人倍率は43年ぶりの高水準となりましたが逆に、中小企業にとっては人手不足が深刻となり、さらには働き方改革への対応が求められています。

このような中、本会では、地域資源や農工商連携等の中小企業施策による販路開拓支援、BCPや知的資産経営に対する取り組み支援、官公需適格組合制度の普及と受発注情報の提供、ものづくり補助金を通じた中小企業の生産性向上など、新たな付加価値創造の支援を行なって参りました。

また、雇用・労働関連の分野では、「福岡県プロフェッショナル人材センター」を設置し、中小企業と新商品や新サービスの企画・開発、販路開拓、生産性の向上などに精通した人材とのマッチングをサポートしております。

このように本会と同友会の組織の目的は相通ずるものがあり、今後とも中小企業の振興、発展のため連携し、全力を傾注して参る所存です。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友3月号 自立型企業づくり  
はみだしレポート

印刷屋から情報伝達を通じた喜びと感動を提供するお客様のベストパートナーへ。

ひびき支部所属KOH O(株)の秋好さんはそう理念に掲げています。

北九州地区でも地区の広報誌「きたきゅう」の発行に携わり、北九州・ひびき両支部の例会や北九州地区の行事などを紹介し、会員へ喜びや感動を伝え続けてくれている、我々にとってもとても大切なベストパートナーです。

それは社員さんやその家族にとっても同様で、年に4回の社員総会では、真剣に社員さんと向き合い、意見を交換し、社長としてのビジョンや思いを伝え続ける。そんな秋好さんの気持ちが、社内全体に伝わって



KOHO株式会社  
代表取締役社長  
秋好 哲美 氏  
(ひびき支部)

本誌p7掲載

いることが会社を訪問する度に感じ取れます。

福岡県の中でも比較的若い会員の多いひびき支部を、いつも優しい目で見守り支えてくれている秋好さんは、僕たちの頼れる父親のような存在です。

株式会社 上津屋製作所  
代表取締役  
小林 正広 (ひびき支部)

AR動画が見られます!

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと

STEP 1 ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)



STEP 2 「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。



【今月の表紙】  
大正モダニズム「旧大阪商船」

撮影・文／富谷 正弘  
株式会社ココスイメージ  
(玄海支部)

門司港が開港した2年後の明治24(1891)年、大阪商船が門司に事務所を構えました。赤間関支店門司出張所として開設され、その後門司支店に昇格。門司港を大連航路の拠点にしました。

現在の商船ビルは大正6(1917)年に同じ場所に建て替えられ、現在はギャラリーやイベントホール、カフェなどが入っています。

お詫びと訂正 「月刊同友2月号」につきまして下記の訂正がございます。ご迷惑をお掛けした読者の皆様、ならびに関係各位には深くお詫び申し上げます。  
P14 誤 取材/貞池 龍彦(南支部) 正 取材/貞池 龍彦(中央支部)

# 共同求人委員会活動で 何を学ぶ？

〇〇ナビや××ナビを利用して採用が難しい時代

共同求人委員長 濱田 浩光

新卒採用で、  
会社を元気にする！  
強い会社をつくる！



濱田 浩光  
貼りアップ株式会社  
代表取締役 (南支部所属)

生を呼び込む流れができています。そして選考を開始します。

## 今の学生は動かない

大学は、知名度のある企業の採用実績や就職率を上げることが命題です。学内で合同企業説明会を実施し、さらには、ドームやマリンメッセで大きなイベントが行われる際にはお迎えのバスまで用意されています。今の学生にとっての当たり前前の環境です。

だから行動力のある学生は目立つ訳ですし、内定も多くなります。動きのよい学生を獲得しなければならぬ企業は、早い採用スケジュールの中で大手企業と戦わなければなりません。

用にもマーケティングは必要なので、大手の合同企業説明会や就活サイトにエントリーして不特定多数の学生と出会い、その中から選考する。ダメとは思いますが、どうしても受け身の採用になっているのではないのでしょうか。

共同求人委員会のメンバーの中で、成功体験(採用活動)を持っている企業は、行動力と計画性があるように感じますし、採用を自社で組織的に進めているように感じます。スタートとして求人票を整備し、各大学の就職課に提出します。学内の合同企業説明会のエントリーや同友会の合同企業説明会、または自社の単独の会社説明会へと学

## 自社の活動量を上げる

費用対効果

近年は採用難で、〇〇ナビなどの求人媒体を利用して上手く行かない企業も存在します。何が不足しているのでしょうか。採

## 唐突な話ですが

経営において費用対効果を考えることは重要です。近年の同友会の会員企業の組織規模は、10名以下が増えています。

そんな中にあっても新卒採用活動に年間100万円以上使う企業も少なくありません。逆に、そのような情報を入手して新卒採用のハードルが高いと感じてしまう会員企業が多いのも実情ではないでしょうか。



合同企業説明会の様子

## 採用と共育 2018年度活動スケジュール

	1 就職サイト	2 合同企業説明会	3 大学との連携 キャリア教育	4 採用勉強会	★ 学生の動向	5 共育実践		
12月	Webを活用して会社をPRします	イベントで学生と出会います	福岡の学校とパイプを築きます	採用に関する体験交流と情報交換を行います	学生の就職活動の動きです	採用した社員と経営者がともに学ぶ研修です		
1月	就職サイト……JobWay(同友会)、Qnavi(九就協)		大学でのキャリア教育講座(経営者の講師派遣) 学校情報(学内企業説明会等)の情報提供	求人票作成勉強会 18日(月) 18:30~20:30	採用に関する勉強会・情報交換(定例の委員会の中で行います。) ※日時が定例委員会の開催日です。 ※場合により変更となる場合があります。			
2月				学校訪問				
3月		合同企業説明会 3/9(金) 13:00~16:30 会場:アクロス福岡		学校訪問		19日(月) 18:30~20:30	入社式・研修 事前打ち合せ 19日(月) 18:30~20:30	合同入社式 4/2(金) 会場:振興センター
4月						16日(月) 18:30~20:30	新入社員研修 4/5(金)~6(土) 会場:泰泉閣	
5月		合同企業説明会 5/19(日) 13:00~16:30 会場:アクロス福岡		内々定		21日(月) 18:30~20:30		
6月				選考(面接・試験)		18日(月) 18:30~20:30		
7月				会社説明会		17日(日) 18:30~20:30		
8月				内々定		20日(月) 18:30~20:30		
9月				選考(面接・試験)		18日(日) 18:30~20:30		
10月				内定者フォロー		15日(月) 18:30~20:30		
11月						19日(月) 18:30~20:30		
12月						17日(日) 18:30~20:30		
1月			21日(月) 18:30~20:30					
2月								

## 内定辞退

2~3年前に比べると内定辞退は、ある程度少なくなってきた印象があります。就職課の先生方も企業側に迷惑をかけることが分かっているため、就職課で把握できている学生については、10月までに1社に絞るように指導するところもあります。

## 離職率を下げる

内定を出して入社するまではできた。しかし、3年以内に新入社員が辞める。なぜでしょうか。色々な要因があると思います。早期退職は、明らかにミスマッチが起きていると考えます。「雇ってみたらとんでもない子だった」というのはたまに聞かれるフレーズですが、自分が・自社が選んだのです。

また、3年を過ぎる時期や20代も後半に差し掛かる時期に社員が辞める状態は、将来設計が描けないのが大きな要因ではないでしょうか。社員共育に課題があるのだと思います。

## 働き方を整える

近年、働く側の多くは、給料よりも休日を求める傾向にあると言われています。しかし、労使がお互いに求める

# 『社員総会』を開く 民主的な 会社運営のために 『広報サポート』に特化



## 創業60年・会社の沿革

代表取締役社長の秋好哲美さんは「1950（昭和25）年創業の折尾印刷までさかのぼります」と説明を始めていただきました。

筑豊地域を拠点とする炭鉱労働者の中で労働運動が高まり、その思いをいかに伝えるかが大きな課題でした。運動に賛同する人たちが折尾印刷を立ち上げ、戦後焼け残った一台の活版印刷機と少しばかりの活字と材料でこの活動を伝えていきました。労働運動は盛り上がり、1957（昭和32）年に基幹産業の労働組合の出資による（株）九州機関紙印刷所が創立されました。出資組合の役員が社外取締役として経営

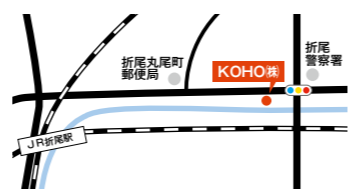
に携わってきましたが、経営者としての手腕には長けていなく、経営の危機を迎えていきます。

1971（昭和46）年、当時営業部長をしていた諸岡昭三郎さん（MORO 企画（ひびき支部所属）が社長に就き、経営再建を託されます。事態を打開するために『将来展望をさし示し、意思統一を図るための経営指針づくりと実践』が欠かせないと痛感していただきます。1975（昭和50）年に中同協が提唱した『労使見解』には大いに共感したと言います。

同友会の学びを実践し、会社は機関紙中心の仕事から総合印刷に幅を広げて成長していきました。

## KOHO株式会社

創業 1957年  
住所 北九州市八幡西区光明1-7-15  
電話番号 093-602-4461  
従業員数 18名  
HP-URL <http://www.pr-koho.com>  
事業概要 広報・宣伝印刷物の提案からコンテンツのクロス展開によるWEB、DVDの企画・制作



コーホー  
KOHO株式会社  
代表取締役社長

あきよし  
秋好 哲美 氏  
てつみ

ひびき支部

1957（昭和32）年創業の（株）九州機関紙印刷所は、2010年（平成22）に理念・方針を現すためKOHO（株）に社名変更しました。社員総会で民主的に運営していく中で、うまくいったこと、頓挫・撤回したことなどがありました。



合同入社式の様子

待遇や環境に理解し合っているかは本当に難しい問題です。

同友会は、そのような労使見解を学び、相互信頼を深める企業づくりを実践する会です。共同求人委員会の実践活動を通して企業変革を目指しています。

### 政府が求める方向

生産労働人口を増やすことが政府の命題だと考えると、若年層のニートやフリーターをなくすために、企業側に離職率低下や正社員化を薦めます。そして、小学生や中学生の時期から職場体験を行い様々な働き方を学ばせていきます。

## 教育機関の課題

人口の減少に対して教育機関のキャパが大きくなってきているため、以前に比べると浪人する若者が少なくなっており、将来の目標が定まっていけない高校生が安易に進学できている状態が進行しています。

大学によっては、1年生で再度基礎教育を行なっているという話も耳にすることもあり。今後、就職率を上げるためにキャリア教育の強化も求められます。

## 中小企業経営者の役割

学生のアルバイトの多くは、コンビニや居酒屋を選ぶ機会が大半ではないでしょうか。働く体験はこの程度ですし、ニーズも足りていません。

学生は、地元でどのような職種の企業が存在し、どのような働き方をしているのかよくわかっておらず、情報は全く届いていない状態です。そこにキャリア教育のニーズが高まっています。

我々同友会メンバーとして様々な角度から学生に向けて仕事の面白さを伝えられる経営者になることは大切なことです。経営体験を会員に向けて話すことは違う力が試されます。

今後さらに共同求人委員会としても強化するポイントです。



新入社員研修の半年後にフォローアップ研修をしています

## 支部例会だけで満足していませんか？

共同求人委員会は、採用活動を通して選ばれる企業になるための実践の場です。新卒採用を行なってくれる求人媒体ではないということが理解いただけると思います。

支部例会の弱点は、毎月毎月の学びに継続性や関連性がないことです。自社の経営課題は、委員会で実践することが近道です。

## 最後に

労使見解の経営者の責任には、「いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任があります。」そして「なによりも実際の仕事を遂行する労働者の生活を保障するとともに、高い志気のもとに、労働者の自発性を発揮させる状態を企業内に確立する努力が決定的に重要です。」と書かれています。

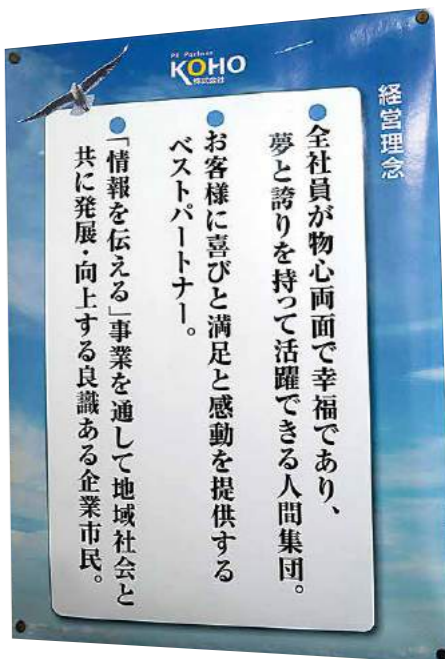
そのため、同友会活動として、経営指針を作成し、計画を立て、雇用し、共育する。様々な角度から学べる場が同友会にはあります。ぜひ、委員会の情報もしっかりキャッチして参画してください。



新入社員研修のプレゼンテーション



従業員の皆さん



壁に掲げられている経営理念

### 社員総会の意義

「会社は個人のものではなく社員全員のものであり、民主的に運営されなければなりません。年に4回社員総会を開いています」  
 会社の意思決定機関は株主総会・取締役会ですが、同社では社員総会も重要な意義を持っています。  
 同社には福岡同友会では珍しく労働組合が存在します。

### 市場縮小の中で社長就任

2005(平成17)年、秋好さんは諸岡さんの後を受けて社長に就任します。当時、印刷業界は大きな変化の波にのまれていました。デザイン・編集は電子組版からDTP(パソコンでデータを作成して印刷物をつくること)に移行し、製版のフィルムレス化やインターネットの普及があり、お客様の職場にも高性能なコピー機が登場するようになりました。  
 発注量の激減、印刷単価の下落を引き起こし、市場は縮小していきました。この波は経営を直撃しました。「わが社も変革しないといけない」と秋好さんは模索していました。

### 社員総会を経ての取り組み

まず賃金の課題に対処しました。もともとあった就業規則は、創業時に東京にある印刷会社を手本としたもの

社員が成長するためには会社の状況を全て開示し、どこに付加価値をつけるかを自らが考えてもらいたい。

にも環境の変化に対応し、自社の生き残る方向性を示すべきと考えたのでした。新しい社名を社内で公募し、「KOH株式会社」としました。2010(平成22)年のことです。

### 評価制度

秋好さんは社内における評価制度導入にも取り組みました。  
 採用した方法は社員に対し社長と4人の社員による360度評価です。しかし出てきたのはほとんどが「中位評価」すなわち5段階の3で返ってきた。理由を尋ねると「難しい」「抽象的だ」とあり、労働組合からも異論が出て頓挫、そして撤回となりました。

### 社員が考える会社

「印刷業は受注商売です。お客様から依頼されて仕事が始まります。何か自主的にやれることはないか模索していました。そんなとき、会社に棲みついた子猫たちの世話や里親探しをきっかけに発刊されたのが「ペット情報誌Animö」でした。捨て犬猫なくすための啓発、ペットと暮らす方々に役立つ情報をお届けしたいという想いで発刊されました。発刊当初は認知度もなく悪戦苦闘する日々でしたが、社員の自主的・自立的な取り組みにより設置場所や読者の投稿も増えていきました。地域の方に支えられ、人と人との繋がり大切さを実感したそうです。  
 社員のスキルアップの手段としては、DTPエキスパート認証試験や日本語検定試験などを受けています。



ペット情報誌Animö

秋好さんは自身が新聞記者だったという経験からこう話します。「いまの若い人たちは情報収集の媒体としてパソコン・スマホがあるから大丈夫だと言います。しかし、それらは知りたいことを知る場合は便利ですが、広報を仕事としているものとして、広く浅く世の中を知らなければなりません。それを俯瞰するためには「新聞を読むこと」が必要です」  
 総会では同友会に倣って、経営課題をテーマにしたグループ討議の時間をかけて行なっています。また事例発表の時間を設け、コンペで大手企業に勝った事例、負けた事例などを報告しています。自主性と放任主義は表裏一体であり、「それ私がやるんですか」といった類の言葉がタブーとなっていました。

際には、どのようなことを大事にしているか」という質問には「顧客の置かれている状況を把握し、期待されている以上のソリューション提案をすることです」と言います。  
 その結果、ホームページなどのWEB事業や動画、編集講座などの依頼も受けるようになってきました。  
 「コンテンツが増え、総合的な広報支援ができてようになってきました」

### 社名変更

そこで秋好さんは理念と方針に沿った形で社名変更にとりかかりました。これには先代を含めかなりの葛藤がありました。しかし、主観的にも客観的に



印刷工場の様子

### 今後の課題

秋好さんは、社員自身が会社をつくる、そのための企業風土づくりが自分の使命と考えています。一日も早くそこに到達して事業承継したいと考えています。2015(平成27)年に40代・50代の社員全員を集めて事業継承塾を開きました。理念・方針から財務・教育に至るまで様々な分野について伝えました。  
 現在、社員総会を柱に民主的に合意を持つて運営しています。変化の速い環境においてスピード感を求められた時にこれぞよいかという懸念を抱いているのも事実です。

### もっと伝えたいをずっと続けたい

取材の最後に秋好さんが考える自立型企業についてお伺いしました。  
 「世の中がどんどん変わっています。社員が、働くことで社会にどう役立っていくか、どんな働きがいがあるかを自覚していることが大事だと思います。そういう社員が有機的に結びつき合っただけでビジネスをつくっていく会社ではないでしょうか。わが社としては、『もっと伝えたいをずっと広げたい』と言っています」  
 取材協力ありがとうございます。

# 福岡県中小企業家同友会 青年支部 福岡フレンドシップフェスティバル2018

2018年  
**4月8日**  
10:00~16:00  
雨天決行

会場 **福岡市役所前ふれあい広場**

「バリアフリー（障がい者と隔たりなく共に生きていく社会）こそが豊かな社会であり、「地域と共に歩む中小企業を目指す」同友会がバリアフリー社会を率先して実践していく」ということを青年支部会員が一人ひとり改めて深く認識しています。私たち同友会青年支部が、より多くの市民に、身体にハンディキャップを持った仲間たちが一生懸命働いている施設があることをお伝えしたいと思います。充実した催しを企画して参りますので、多数のご参加・ご協力賜りますよう、青年支部一同心よりお願い申し上げます。



## 今年もやります!! 事業所支援イベント

毎日、支援事業所で制作している数々の品を販売。是非ご覧ください。チャリティーバザーもやっています。掘り出し物を探してみてください。

## パフォーマンスや B級グルメでおもてなし!

地元のアーティストや芸人が大集合!! 迫力満点のステージとおいしいB級グルメでお祭り気分でおもてなし!! 当日の飲食チケットもあります!!



主催 福岡同友会 青年支部 後援 福岡市

## 2017年度 第9回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2018年1月24日(水) 13時00分~17時30分  
会場 福岡県中小企業振興センター 202会議室

出席 45名(出席率73.4%)  
議長 光本智恵子(副代表理事)

### 協議事項

#### 1 2018年度運動方針骨子案について

各代表理事より2018年度の運動方針案が提案された。出された意見をもとに、運動方針案を正副代表理事会で検討し、次回の理事会に提案することとした。

### 審議事項

#### 1 2018年度役員選考

役員選考委員長より、2018年度役員(中央支部長および青年部連絡会代表)が提案され、審議の結果、承認された。

### 報告・確認事項

#### 1 事務局関係報告

事務局長より1/5に新入局員1名が入局した旨報告された。

#### 2 会員企業の動きなど

経営革新計画承認企業 2017年12月 ※11月分追加  
11月分追加

- M・Tトータルカーショップ 田中 真剛氏(有明支部)  
(テーマ)新車販売の仕掛け作りと自社認証工場との組合せによる循環型ビジネスモデルの構築

12月

- (株)中村タイル商会 中村 正昭氏(福友支部)  
(テーマ)非公開
- 中村硝子 中村 信文氏(田川支部)  
(テーマ)「構造見学会」によるリフォーム事業の強化と「住まいの困りごとサービス」の提供

※累計で福岡県全体では5,560件、会員企業は延べ415件

### 表彰

日刊工業新聞社  
「第35回優秀経営者顕彰」優秀経営者賞  
・ベルテクネ(株) 鐘川 喜久治氏(西支部)

経済産業省「地域未来牽引企業」  
全国2148社 福岡県74社(会員企業7社)

- ・(株)糸島みるくぶらんと 田中 和久氏(糸島支部)
- ・岩田産業(株) 岩田 陽男氏・岩田 章氏(東支部)
- ・(株)岡野 山本 裕子氏(福友支部)
- ・(株)鹿田産業 鹿田 和正氏(福友支部)
- ・竹下産業(株) 竹下 政敏氏(有明支部)
- ・(株)ピーエムティー 松岡 譲二氏(東支部)
- ・(株)ふくや 川原 正孝氏(南支部)

### 理事会報告全文

e.doyuの文書管理(理事会報告-2017年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

事務局向け

## 「会員管理システム」が稼働

### 出欠、アンケート、会費管理からスタート

株式会社システム企画 代表取締役 倉本明彦(南支部)



新システム稼働で  
データの運用がスムーズに

データベース作業部会では、2015年6月から事務局員を交え、会員データベースの活用と運用について、「開発構想」、「現状分析」、および「段階的な開発時期と範囲」などの調査や議論を開始しました。  
おもな内容は次の通りです。

- 1 現在、事務局が運用している会員システムの仕様や改善要望の調査
- 2 運用環境(本部・北九州・県南などのネットワーク)や、機器の更新時期の調査
- 3 会員に公開できる個人情報などの範囲とセキュリティ問題

そして、第一段階として、「新会員システム」の開発範囲、稼働時期の討議、審議、公募のための仕様書の作成を行いました。2016年3月には、開発業者公募のため、全会員に資料の送付を行いました。4月には6社による応札とプレゼンにより選考審査を行い、5月に弊社に内示をいただきました。(弊社は応札業者を宣言したため、公募仕様書作成から審査までの期間は作業部会メンバーから外れました。)



2016年5月からは作業部会メンバーも同席で、弊社担当SEと事務局による詳細打合せを開始し、このたび新システム開発が完了し、稼働を開始いたしました。

### 更なる飛躍をみせる クラウドシステム

今回のシステムは、クラウド・サーバーを使用し、ツールは開発者人口も多いため、Visual Studioで開発を行なっております。クラウドで運用することで、本部だけでなく北九州、県南からも365日24時間、データを同時共有することが可能になりました。例会や委員会、

経営者フォーラムなどの出欠管理やアンケートの集計と履歴、会費などの管理を行なっています。一部eidoyouのデータ連携も行なっています。

現在は事務局員向けの会員管理システムですが、今後はセキュリティの問題を解決しながら蓄積されたデータを使い、「会員さんが自分の活動履歴を調べる」、「会員企業が様々な条件で検索する」、「条件を指定し様々な集計を行う」なども可能になるのではないかと考えています。また、地図情報と重ねて会員マップや会員名簿作成などの情報源にも応用できるかもしれません。今後の発展が期待できます。











オンエア中

### フォトレポート

## 「それって、どーゆうかい？」

福岡県中小企業家同友会提供のコミュニティ FMラジオ番組「それって、どーゆうかい？」に玄海支部の黒木義彦さん(株黒木建設)と山本博一さん(有漸建築設計室)が1月19日(金)に出演されたので、応援を兼ねて取材に行ったフォトレポートです。

コミュニティFMラジオ局COMITENN FM77.7MHzでオンエアされている大名にある小さなラジオ局です。毎週金曜日の14:00から14:55の55分間 FM77.7MHzで放送されている同友会提供のラジオ番組です。

これまでに60社の同友会会員が出演されており、大名のスタジオから同友会の関わりや自社の強みを発信しているラジオ番組です。元RKBアナウンサーの野川真理さんのわきあいあいとした素敵な進行で番組が進められます。

自社の仕事のPR、同友会との関わり、思い出の曲、曲にまつわるお話と番組が進行していきます。ちなみに、黒木さんのリクエスト曲は「NHKの仕事の流儀」のテーマ、山本さんのリクエストは「白い恋人達」でした。あっと言う間の55分です。

株式会社ココイメージ  
富谷 正弘(玄海支部)



黒木義彦さん



山本博一さん



なごやかな雰囲気で行打合せ

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会  
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索